

入 校 案 内

募集対象 建築関連の事業所に勤めている方（雇用保険被保険者）又は
一人親方等で労災特別加入者の方

訓練期間 3年間（週1日、年間50日の授業）
木造建築科・・・水曜日 塑性加工科・・・木曜日

授業料等 協会入会金：1,000円 会 費：年3,000円
入 校 金：17,300円 授 業 料：月7,200円

申込締切 令和6年3月15日（金）

事業主の皆さんへ ※下記1～5の条件を満たす事業所に所属する従業員に入校の資格があります。

- 1, 入校する従業員は、雇用保険被保険者、又は労災特別加入者であること。
- 2, 入校する従業員に、受講期間中、最低賃金を下回らず通常賃金を支払うことができること。
- 3, 入校する従業員に、所定労働時間内に訓練を受講させることができること。
- 4, 入校希望訓練科に該当する職種の職業訓練指導員免許保持者が事業所内にいること。
- 5, 事業所が大崎地域職業訓練協会の会員であること。但し、未加入の場合は会員として加入すること。

訓練中の賃金補填として、国の助成制度「人材開発支援助成金」があります。詳しくは、宮城労働局（☎022-205-9855）へお問い合わせください。なお、事前に提出書類がありますので、お早めに（年明け1月まで）ご確認願います。

— お問い合わせ先・お申込み —

大崎地域高等職業訓練校

地域の人材育成を支援します

〒989-6156

宮城県大崎市古川西館三丁目9番10号

☎ 0229-22-1509

☎ 0229-21-9550

✉ osaki-vtc@coast.ocn.ne.jp

ホームページ
QRコード



建築の未来を支える プロフェッショナルを目指して。

～基礎力をしっかり磨き、頼りにされる確かな技能へ繋げましょう～

塑性加工科
（建築板金）

技能検定合格（実績）
37名

木造建築科
（建築大工）

技能検定合格（実績）
30名

令和6年度 訓練生募集

大崎地域高等職業訓練校
Osaki Vocational Training Association.

従業員の技能向上、育成を支援します

大崎地域高等職業訓練校は、宮城県の認定を受け事業所の従業員のための技能開発、技術向上訓練を行うための教育訓練施設です。事業主等から派遣される形で、それぞれの職種に必要な基礎的な技術・幅広い知識を習得するため、3年間の職業教育を行います。

訓練は、訓練校に集合して行う集合訓練400時間と、各事業所での通常の仕事を通して行われる分散訓練1000時間で構成されます。(年間総訓練時間1400時間)

集合訓練 (訓練校にて)

- ・AM8:30~PM4:30
- ・週1日(年間50日)
- ・年間400時間

+

分散訓練 (各事業所にて)

- ・通常の仕事を通し職業訓練指導員のもと各事業所で指導を受ける
- ・年間1000時間

年間総訓練時間
1400時間

訓練修了後の特典

- ・技能照査合格者への技能士補の**称号授与**
- ・技能検定2級受検時の**学科免除**
- ・各種受検に必要な**実務経験年数の短縮**(技能検定、職業訓練指導員免許)

職業訓練校修了後には大きく3つの特典があります
修了後の資格試験にも有利になること間違いなし!

訓練科のご紹介

木造建築科(建築大工)



木造建築(在来軸組構法)における基礎・専攻学科と併せて器具・機械操作等の使用方法を学び、製図、工作、施工等の実習を行い、小規模木造建築施工ができる実践的な技能を習得します。



塑性加工科(建築板金)



金属加工(建築板金法)における基礎・専攻学科と併せて器具・機械操作等の使用方法を学び、様々な板金製品の展開から組立、検査等の実習を行い、一貫作業ができる実践的な技能を習得します。



卒業生 事業主 講師 からのコメント

卒業生・事業主・講師から職業訓練校やこれからの未来に対する想いをお聞きました。

卒業生

佐信木材(株)
専務取締役

佐藤 友紀さん

私は施工管理の立場では納まり等の仕組みは知ってはいましたが、自分で加工する技術は無かったため、仕事をしながら加工のノウハウを学べ、技能士資格も目指せる大崎地域高等職業訓練校を勧められ入校いたしました。一般的な加工の仕方は勿論、専門的な納まりや建築の知識等、訓練校で学んだことは数多くあります。また、職人同士の繋がりになり、卒業後も訓練校とは関係があり大変助けられています。



事業主

(株) 檜工務店
代表取締役社長

檜野 成利さん

私ども工務店では、これまで5名の人材を教育頂きました。学び得た技術を基に、毎日現場で奮闘活躍しております。通学した人材は殆どが高校新卒の人材だった為、大工技能の基礎からの手ほどきを頂き、卒業までには2級大工技能士を取得、今では2名が1級技能士資格を取得しております。雇用する立場としては、3年が長く感じるかもしれませんが、将来を見据えた技術・資格の取得・若手育成にはありがたい場と思っています。



講師

原建築設計事務所
職業訓練指導員

原 清人さん

現代の建築は、工場でのプレカットなどの機械化が進み、人の手がかからなくなっているため、建物自体の創造性がなくなっているように感じます。また、日本の伝統を支えてきたのが、職人ですが、今ではその職人が減りつつあります。技術をしっかりと継承していくためにも、若手の育成が必要です。これからの日本を支えていってくれる職人を一人でも多くこの訓練校から輩出したいと思っています。



卒業生

中田板金工業(株)
技能士

中田 あゆみさん

私は入社と同時期に訓練校に入校しました。道具の呼び方や使い方も、ほとんど知らないところからのスタートでした。訓練校で基本の基から教えてもらったことで、実際の現場でもとても役立っています。入校当時は不慣れな環境にいたのが憂鬱でしたが、先生や仲間恵まれ、いつの間にか週に一度の訓練日が楽しみになり、長いと思っていた3年間もあっという間に過ぎました。修了時には2級板金技能士と宮城県知事賞を頂き、今では現場で働く上で励みになっています。



事業主

(有) 共栄システムズ
代表取締役社長

佐々木 正さん

早く一人前の職人になってもらうことを望み、訓練校にお世話になりました。週1回の訓練は、現場への影響が少なく通わせやすかったです。訓練期間中に国家資格である1級技能士を取得する事ができたことは、資格が求められる現場が多くなってきていることもあり、今では頼もしい我が社の中堅職人となって活躍しております。おかげさまで安心して仕事を任せられる職人に育てて頂きました。



講師

(有) 佐藤慶板金
職業訓練指導員

佐藤 慶記さん

授業では、昔の職人の手作りの技、切って・折って・展開図を書くなどを教えています。現場では何が起きるかわかりません。実際に手作業で作ることもあるかもしれません。そんな現場でもしっかりとこなす一人前の職人を育てたいと思っています。職人たちが減ってくると、何かあったときに教える人がいなくなってしまう。この訓練校で3年間、技術を体で覚え、一人前となって、次の世代に技術を伝えていって欲しいと思います。

